

第 1790 回例会報告

令和5年6月22日(木)雨

会長告知

事業報告例会

会長 萩田 均

本年度もあと1週間余りとなりました。ぎりぎりまで事業が続いています。ご協力のほどよろしくお願ひします。それぞれの報告は委員長さん方にお任せいたします。

本年は始まってから菱刈船の問題について理事会、特別理事会、持ち回りの理事会等役員を中心に討論を重ねていきました。

また例会においてもこの問題の共有化を図り、コンセンサスを得ることを重ねてきました。私は、常に質問に対して偽りなく、丁寧な答えをして一つ一つ問題を解決することに努め、社会奉仕委員会にはメンバーの質問にすべてをこたえるよう説得し、事業として取り組むため、総会の前の準備としてとして理事会に諮ってきました。

最終的にこたえることができない問題と、突然にエレクトの退会届が出て、答えるべき人の退場により、全ての話合いが、集結しました。質問のすべてにこたえていれば、問題は何もないのですが、ただの怒りの心がすべての終了になってしまいました。

また、高齢であることにより尾上さんが退会をし、突然の死亡により溝口先生を失いました。今月、片倉さんより仕事のことにより退会の申し出がされています。

5月から感染症法令により新型コロナが5類になり自粛をしていた。2クラブ合同例会(来年度は諏訪RCの都合により開催しません)や平山先生勲章受章祝いの会等々を開催することができ、コミュニケーションの大切さを改めて感じました。

来週は夜間家族例会です。次年度へバトンを渡すため楽しく、心優しく引き継ぎたいと思います。また、ここで7月1日から事務局の変更により、事務局がすてっぷカサイさんからマリオに、事務局員が河西優子さんから牛山洋美さんになります。優子さん大変ありがとうございました。引継ぎにおいてご厄介になりますが、しばらくよろしくお願ひします。

◇幹事報告◇

【連絡事項】

1. 最終例会の出席の確認を行います
2. インターアクトの大会の案内が来ました

【受領文書】


1. ロータリー親睦月間に関する資料が届きました

第1790回例会

第38期 事業報告

担当 会長・幹事

本日は、第38期の事業報告例会でした。各委員長さんのうち、原稿提出のありました委員会のみ、次ページに記載いたします

♪出席報告		♪ニコニコBOX		 <p>・本日は委員長の方々よろしくお願ひいたします。 萩田均 ・暑くなったり寒くなったり体調には気を付けてください 宮坂英貴</p>
会員数	33人	6人	8,000円	
出席対象	33人	累計	722,000円	
出席者数	19人	目標額	60万円	
出席率	57.5%	達成率	120.3%	
前回修正				

【職業奉仕委員会】

平山隆勇委員長

1. 会員セミナー
2. 会員卓話
(1, 2を兼ねたzoom例会…5に変更)
3. 出前講座: 中止
4. 会員の健康診断[3/16 1777回例会]
今年は9名の会員が受診(平山・小笠原)
健康卓話『健康診断と健康卓話「正常値」』
小笠原 仁会員
5. 職業奉仕を考える(3回のzoom例会)

会員セミナー担当例会

7月21日 1748回:職業奉仕を考える1

職業奉仕のはじまり、職業奉仕(最もよく奉仕する者 最もよく報いられる)から人道的支援(超我の奉仕)への変化の歴史、日本のロータリアンが職業奉仕はロータリーの根幹と考えているのに対しRIはその様に考えていないこと等をお話しました。

9月22日 1756回:職業奉仕を考える2

RIは個々が報われることより、人に尽くすことを優先する立場であり、最近のロータリー入門書でも、職業奉仕の概念は職業上の倫理基準を保つこと、各自の職業を高潔なものにすることが求められています。また『行動しよう』ではロータリー行動グループに参加することが真っ先に挙げられていますので、

12月1日 1765回:職業奉仕を考える3

内向きの職業奉仕(例会や奉仕活動で学んだ奉仕の心で職業を営む)と外向きの職業奉仕(職業で培った専門的な技術や知識を活かし奉仕活動を行う)という双方を認める現実的な受け止め方(2780地区職業奉仕委員会)の紹介、日本のロータリアンが行っている外向きの職業奉仕の事例紹介を紹介しました。

4月 6日1779回:外部講師卓話

【講師】宮坂有洪PG(岡谷RC)

【テーマ】「職業奉仕の重要性」について

『職業奉仕の受益者はロータリアン自身』という言葉に「感動した」、「目から鱗だった」という反応がありました。日本の伝統的職業奉仕を大切にする会員が多くいらっしゃるということだと思います。

職業奉仕に関するアンケート(6月1日 実施)

断念した職業奉仕について語り合う夜間例会の代わりに、以下の様なアンケートを実施しました。

A 『最も多く奉仕するもの最も多く報いられる』の報いとは何だと思えますか?

1. 満足感・達成感(38%) 2. 事業が永続的に繁栄し、お金が儲かること(12%)

3. 1と2の両方(50%)

B 職業奉仕はロータリーの根幹だと思いますか?

1. そう思う(94%) 2. そう思わない(6%)

3. 分からない(0%)

C 職業奉仕活動とはどんな活動だと思いますか?

1. 職業を通じて社会に貢献する個人的活動(19%)

2. 自分の職業で得た、知識や経験、技術を活かした団体奉仕活動。(19%)

3. 1. 2. の両方(62%)

D シェルドンの功績について

1. よく知っている(31%) 2. 余り知らない(63%)

3. 全然知らない(6%)

○『最も多く報いられる』の報いとは、精神的なものど実質的なもの両方と考える会員が半数、次いで精神的なものとする会員が38%と全体的には精神的な報いを重要視する傾向でした。

○職業奉仕はロータリーの根幹と思う会員が94%根幹と考える会員が大部分でした。

○職業奉仕は職業を通じて社会に貢献する個人的活動、職業で得た、知識や技術を活かした団体奉仕活動の両方と考える会員が62%、どちらか一方と答えた会員が各々19%ずつで、両方を職業奉仕と考える方が主流でした。

○シェルドンの功績を余り知らない、全く知らない会員の合計は全体では69%ですが、ロータリー歴10年以上の会員に限ると50%、ロータリー歴10年未満の会員に限ると100%と大きな差が出ています。ロータリー歴の短い会員はシェルドンの功績を知る機会が少なかったからでしょう。

【国際奉仕委員会【国際奉仕委員会】

長崎政直委員長

1. 鍵盤ハーモニカの収集事業

2022. 7月30日セブ西澤工業にて鍵盤ハーモニカ音楽支援校の担当者会議開催。14校中12校出席して以下の事項を要望された

1) 鍵盤ハーモニカの補充。

2) ハーモニカマウスピースの補充。3)

3) 第3回音楽会の開催を要望された。

事業変更:鍵盤ハーモニカの収集を行うことにした
収集方法の検討:諏訪郡市小中学校での収集経過

2023、1月下諏訪町教育委員会に相談

3月諏訪郡市教育委員会へ後援依頼
4月ポスター・チラシの製作、諏訪郡市小中45校校長会で収集依頼し、5月各学校へポスター配付、全生徒にちらし配布を行い回収依頼する
6月各学校より回収、39校360台回収
6月鍵盤ハーモニカ整備作業 つつじヶ丘学園の子ども達と共同作業で行い7月発送予定

2. ミンダナオ子ども図書館財団(MCLF)支援

1) 支援金: 自由寄付10万円

MCLFが財政的自立をねらい、水田の購入、米作により自分たちの食糧確保と販売により自前の資金を生み出す事業への支援。(缶詰より釣り竿を)ロータリアンの個人寄付も加わり1ha購入され。

2) ミンダナオ子ども図書館の子ども達とつつじヶ丘学園の子ども達との交流の可能性の調査・研究: 青少年委員会との共同事業

10月MCLF西村奈々子さん招聘し例会卓話

その後つつじヶ丘学園で子ども達との交流
ミンダナオ子ども図書館の子ども達とのZoomを使
っての交流

歓迎懇親会開催

3) 2月第2回つつじヶ丘学園の子ども達とMCLFの子ども達との交流

評価 つつじヶ丘学園

子ども達は新しい経験に興味を持っています。引き続き交流した。

評価 MCLF

同様に新しい経験を楽しんでいる。引き続き交流したい。

評価 委員会

つつじヶ丘の子ども達が明るく元気に暮らしていくために、元気なMCLFの子ども達とふれあうことで、元気をもらうことを目的に、試験的に始めましたが、共に継続の要望があり、元気をもらうことの他に、生きることへの自信のようなものが生まれてくれれば良いな一と思っています。

3. 米山奨学生劉強君の支援

2021-2022年度4月より3月まで、米山奨学生劉強君をあずかりました。小口直久君の適切・丁寧なカウンセリングにより、ほとんど毎例会出席と、素晴らしい米山留学生でした。

4. ロータリー財団寄付募集18名375,000円

5. 米山奨学会寄付募集18名235,000円

【クラブ会報・雑誌広報委員会】

御子柴文夫委員長

- ① 本年度もコロナ感染下のため、人の集まりに制約が続く状況を踏まえて、当会現況の情報共有と新たに迎える社会への希望を会員に図ることを意図した事業計画と致しました。意見発表希望者による発表例会を1回開催致しました。
- ② 当会が広域クラブの為か 新聞等の報道に活動が記事として取り上げられ難く 社会に周知させる為の作戦が必要であったと反省致します。
- ③ 今の若者が活躍する未来の社会に向けて、我々が手伝える事象の情報を得るため、他地域から諏訪の地に移住して行政体に勤め「地域おこし協力隊」として活動した3名の方を招いて3回の講師例会を開催致しました。諏訪地域に永住して活躍の後、ロータリークラブに加入して頂ければ幸いです。
- ④ 会報誌(ウィークリー)が毎週発行されましたが、会の方針や会員の思いが会の中で伝わっていない現象があります。クラブ会報(委)の職務が不明ですが 人が集まり難い為 心が離れている状況を打破できる方策があったのではと反省しております。